

事業者向け

くろーばーきっず 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容によって室内のレイアウトを変更し、動線等の工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			在籍児童全員が車椅子を使用しているため、移動時に人手が足りなくなる際は、多機能事業所の利点を活かして連携を図っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物全体でバリアフリー化されている。
業務改善	④	業務改善を進めるための P D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼・夕礼・支援会議、また普段の会話時より課題・改善点を話し合っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートによる意向調査を基に、行事やプログラムの検討・実施をしている。また、面談時にも意向を確認するようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページにて公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価の実施はしていないが、保護者等の意見を参考にし業務改善を常に行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年2回の法人研修と外部研修への参加をしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学校の個別指導計画や保護者の面談を通して情報収集に努め、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用し、利用児の状態把握に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の支援会議にて、個別支援計画に沿った活動計画を立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週毎に多様なプログラムの立案・実施をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動時間に応じて多様なプログラムを設定し、実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別で取り組む課題、集団で取り組む課題を抽出し計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼にて当日の活動内容・利用児童の体調の確認等を実施。活動時もそれぞれの体調の変化や様子について適宜話しをして確認をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日に気になった様子や送迎時の保護者との会話等について情報共有をしている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			翌日の午前中までに、個別支援計画の項目ごとに記録を残している。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1回のモニタリング・面談を実施。また、状態像の変化に応じてその都度モニタリング・面談の実施をしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			個々の課題に合わせて
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当職員と児童発達管理責任者が参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校のメーリングリストへの登録もしているが、原則保護者を通じて学校の予定（短縮等）を把握し、変則的な予定について対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			法人の医療的ケア要項に則り実施。保護者からの申請・主治医からの指示書・研修を経て実施している。実施した医療ケアについては、毎月書面にて主治医に報告をしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者を通じて成育歴を含めた幼児期の情報収集と併せて、必要に応じて通園先への見学等を実施している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度においては該当児なしのため未実施。該当児童がいる場合は、相談支援事業所が中心となって移行会議等を実施。情報提供を行うようにしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期通院・訓練等の様子は保護者より聴取するようにしている。専門機関との直接のやり取りはしておらず、必要時には保護者を通じて実施している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	地域の図書館やプールなどに出かけるようにしているが、利用時の積極的な関わりはない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			市内の放デイ連絡会に参加。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳を介してや、送迎時に活動の様子を伝えている。必要に応じて面談や電話にて共通理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			積極的にコミュニケーションを図ることで会話の中から困りごとや悩み事を拾い、助言や情報提供に努めている。内容によっては相談支援事業所へ繋げるようにしている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約書・重要事項説明書に基づいて、面談時に丁寧な説明を実施している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			助言や情報提供に努めている。必要に応じて、相談支援事業所へ繋げるようにしている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	例年2回、保護者・きょうだい児の交流が持てるようにお楽しみ会を開催しているが、今年度はコロナにより未実施。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者・責任者の設置について、契約時に重要事項説明書にて説明をしている。苦情があった際は、苦情解決規定に則り対応をしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動の様子を載せたお知らせを配布している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			契約時に個人情報の取扱いに関する同意書を交わし、同意された範囲内で情報を使用している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者の状況に配慮しながら、できる限り直接対話を心がけている。必要に応じて、紙面やメールの活用をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所へ招待する行事等の実施はしていないが、近隣のスーパー等へ出かける等して地域との繋がりを構築するようにしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時・感染症マニュアルは策定済み。職員には事業所内研修、保護者にはお知らせにて周知をしている。防犯マニュアルは未策定だが、建物に警備員が常駐している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回実施。 実施については、保護者にも周知するようにしていく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回、全職員参加必須の研修を実施。研修報告書の提出を義務付けている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			6か月に1回審議を行い、審議記録とやむを得ず身体拘束を行うことについて記載した様式を合わせて法人へ提出して承認を得ている。個別支援計画に記載して面談時に保護者へ説明、サービス提供記録・ケース記録に記録を残している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者から情報収集し、調理実習・外食等での対応を整えている。現在はアレルギー対応児童はいない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例発生後、会議にて再発防止策の検討、改善を行い、作成した報告書は閲覧可能となっている。